

II 保健予防推進担当

1 健康づくり・栄養

健康増進法に基づき、高齢化社会に向けて生活習慣病を予防することで、「健康寿命」をできるだけ延ばすことを目的とする。その実現のため、食生活・運動・休養・喫煙等の生活習慣を見直し、健康づくり・栄養改善を目的として事業を実施した。

(1) 健康増進(栄養等)の実施

県民に対して、専門的な栄養指導及び食生活支援を行い、生活習慣病を予防することを目的として実施した。

平成 28 年度

対象	個 別 (人)		集 団 (人)		
	栄 養	禁 煙	栄 養	運 動	禁 煙
乳 幼 児	—	—	—	—	—
20 歳未満	—	—	—	—	—
20 歳以上	15	0	518	0	0
合 計	15	0	518	0	0

(2) 食環境整備事業の実施

地域における食に関する環境を整備するため、給食施設等における栄養改善の向上や栄養管理についての指導及び助言を行った。食品製造業者に対して、栄養成分表示の指導を行い、県民に食生活に関する正しい知識や情報を適切に提供していく。

ア 給食施設指導

平成 28 年度

	特 定 給食施設	その他の 給食施設	合 計
給食管理指導 (延べ施設数)	31	13	44
喫食者への栄養・運動指導 (延人員)	—	—	—

イ 栄養成分表示普及促進事業

平成 28 年度

対 象	内 容	回数または人数
住 民	栄養成分表示普及・啓発	3 回 243 人
埼玉県・健康づくり協力店	指定基準指導	9 店舗

(3) 食育・地域栄養活動事業の実施

地域における栄養関係団体等の活動を支援するとともに、地域におけるリーダーの育成及び栄養改善の体制を整備するため、関係団体に対して、質の向上のための研修会を実施した。

その結果、各関係団体とも管内市町の保健事業で積極的に活動協力している。

栄養関係団体育成事業の実施

[研修]

実施年月日 (会場)	内 容	参加者
H28. 6.28 (秩父保健所)	「平成28年度秩父保健所管内給食施設研修会」 講義「給食施設の衛生管理について」 講師 秩父保健所 生活衛生・薬事担当 担当部長 平岡 政治 氏 報告講義「給食施設の栄養管理状況について」 講師 秩父保健所 保健予防推進担当	管内給食施設栄養担当（主に管理栄養士・栄養士等）と施設管理者等 64人
H28. 6.29 (埼玉県熊谷地方庁舎)	「北部地域食育ネットワーク研修会」 熊谷保健所、本庄保健所、食の安全大里地域推進会議との共催により実施。 講義 埼玉県食育推進計画（第3次）について 講師 保健医療部健康長寿課職員 講演 野菜を通じた食育の取り組みについて 講師 日本野菜ソムリエ協会認定 野菜ソムリエ 牧野 悦子 氏	管内市町職員（保健衛生、児童福祉、農政担当課）、保育所職員、小中学校職員等 74人
H28. 8.31 (埼玉県熊谷地方庁舎)	「災害時における施設管理研修会」 熊谷保健所、本庄保健所との共催により実施。 テーマ「災害発生直後から迫られる判断と対応」～災害時避難行動要支援者への支援を中心に考える～ 情報提供 災害時対策アンケートの結果について 講師 熊谷保健所 保健予防推進担当 講義とワークショップ 講師 国立大学法人長崎大学 広報戦略本部 准教授 堀口 逸子 氏	管内市町関係部署職員、介護老人福祉施設・老人保健施設管理者 43人

<p>H28. 9. 28 (早稲田リサーチパーク)</p>	<p>「アレルギー疾患研修会」 熊谷保健所、本庄保健所、本庄保健所管内給食研究会との共催により実施。 講演「子どもたちのアレルギー疾患ー学校、幼稚園、保育園での対応について」 講師 埼玉医科大学病院 小児科 教授 徳山 研一 氏 エピペン実習</p>	<p>管内 学校（養護教諭、栄養教諭、給食関係職員（栄養士、調理師等））、幼稚園（幼稚園教諭、給食関係職員（栄養士、調理師等））、保育園（保育士、給食関係職員（栄養士、調理師等）） 111人</p>
<p>H29. 2. 21 (嵐山郷)</p>	<p>「平成28年度 摂食・嚥下研修会」 熊谷保健所、東松山保健所、本庄保健所、社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団嵐山郷との共催により実施。 講義 口腔衛生について ～歯科衛生士によるブラッシング指導を学ぼう～ 講師 歯科診療主査 大久保 典子 氏 講義 摂食・嚥下機能に合わせた安全でおいしく豊かな食事～映像によるソフト食の調理方法説明～ 講師 栄養担当主査 後藤 薫 氏 栄養担当主任 新井 佑佳 氏 講義 嵐山郷の摂食・嚥下機能の段階に合わせたソフト食について～ソフト食を体感して味わってみよう～ 講師 栄養担当主任 新井 佑佳 氏 (株)LEOC マネージャー 佐藤 美志英 氏 講義 誤嚥の防止のために摂食・嚥下のメカニズムを知ろう 講師 医幹（歯科医師） 内田 淳 氏</p>	<p>管内老人保健施設、特別養護老人ホーム、病院、訪問看護ステーション等の関係職員 59人</p>
<p>H29. 2. 24 (埼玉県熊谷地方庁舎)</p>	<p>「ターミナルケア研修会」 公益社団法人埼玉県栄養士会主催、熊谷保健所、本庄保健所、秩父保健所後援により実施。 上映 アニメ「緩和ケアってなあに」 講義 医師の立場からの緩和ケアについて 講師 国保町立小鹿野中央病院 地域包括医</p>	<p>管内老人保健施設、特別養護老人ホーム、病院、訪問看護ステーション等の関係職員 58人</p>

	<p>療部長、自治医科大学 臨床准教授（地域担当）、埼玉医科大学 非常勤講師 内田 望 氏</p> <p>緩和ケアの症例を通じて</p> <p>講義 訪問看護師の立場から 講師 小鹿野町訪問看護ステーション 原口 尚子 氏</p> <p>講義 訪問薬剤師の立場から 講師 (有)秩父薬剤師会調剤センター おがの薬局 町田 一美 氏</p> <p>講義 訪問管理栄養士の立場から 講師 (有)秩父薬剤師会調剤センター寺尾薬局 強矢 和子 氏</p> <p>講義 ケアマネジャーの立場から 講師 小鹿野町在宅介護支援センター 内海 久美子 氏</p> <p>講義 病院管理栄養士の立場から 講師 町立小鹿野中央病院 加藤 喜大 氏 情報交換</p>		
H28. 5. 25 (秩父保健所)	<p>テーマ「生涯を通じた健康づくり」</p> <p>講義 認知症サポーター養成講座 講師 認知症サポーターキャラバンメイト 講義 栄養・健康づくりについて 講師 秩父保健所職員</p>	秩父郡 市食生活 改善 推進員 連絡協 議会	28人
H28. 7. 27 (吉田保健センター)	<p>おやこ料理教室 リーダー研修会</p>		20人
H28. 9. 7 (横瀬町総合福祉センター)	<p>生涯骨太料理講習 リーダー研修会</p>		22人
H28. 10. 19 (みなみの道の駅～下田野)	<p>健康づくりウォーキング</p>		37人
H28. 11. 8 (長瀬町中央公民館)	<p>生活習慣病予防 リーダー研修会</p>		19人

〔活動支援〕

対 象 団 体	内 容
管内食生活改善推進員団体	活動支援・資料作成

〔秩父郡市食生活改善推進員連絡協議会〕

平成 28 年度

組 織 名	事 務 局	会 員 数
秩父郡市食生活改善推進員連絡協議会	秩父郡市食改協議会長宅	179 人
秩父市食生活改善推進員協議会 吉田支部 (秩父支部は休会中)	秩父市保健センター	31 人
横瀬町食生活改善推進員協議会	横瀬町健康づくり課	52 人
皆野町食生活改善会	皆野町健康福祉課	44 人
長瀨町食生活改善推進員協議会	長瀨町健康福祉課	30 人

〔市町村支援〕

実施年月日 (会 場)	内 容	参加者
H29. 3. 13 (秩父保健所)	「平成 2 8 年度秩父地域栄養・食育検討会」 議題 栄養・健康づくり・食育事業、 アレルギー、食育推進計画等について 議題 災害時の対応について 災害対応カード ゲーム クロスロードから考えよう その他情報交換	秩父保健所管内 市町 保健主管課栄養士、児 童福祉主管課栄養士、 管内地域活動栄養士 7 人

(4) 地域・職域連携推進事業の実施

ア 働く世代の健康づくり支援等健康課題対策支援事業

実施年月日 (会 場)	内 容	対 象
H28. 11. 18 (やまなみ会 館)	「事業所健康講演会」 講演テーマ「身体の健康と心の健康」 副題：品質管理は、健康管理から 講義 健康長寿サポーター養成講習 講師 秩父保健所 管理栄養士 講義 心の健康について 講師 秩父保健所 精神保健福祉士	事業所の社員 202 人

<p>H29. 3.15 (秩父保健所)</p>	<p>「埼玉県北部ブロック保健所合同研修会」 熊谷保健所、本庄保健所との共催により実施。 保健所別研修との共催により実施。 情報提供 埼玉県北部地域の特徴と健康課題について 報告 秩父保健所 管理栄養士 講義 働く世代の方への食を通じた健康づくり～給食施設や食品等事業者での工夫～ 講師 女子栄養大学 栄養学部 准教授 堀端 薫 氏</p>	<p>管内事業所給食施設、寄宿舍における健康管理部門担当者、給食部門担当者、食品等事業者、健康づくり協力店、食生活改善推進員、管内市町関係課所職員、保健所関係職員等 34人</p>
<p>①H28. 10. 7 ②H28. 11. 22 (埼玉県熊谷地方庁舎)</p>	<p>「健康産業育成プラスセミナー」 熊谷保健所、本庄保健所、埼玉県産業労働部 商業・サービス産業支援課との共催により実施。 ①講義 生活習慣病専門医から見た食塩の低減食品 講師 生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明 氏 講義 健康に役立つ農産物と食品開発 講師 武藤養鶏場 武藤 けい子 氏 坂戸市農業振興課 副参与 加藤 由実 氏 情報提供 ②講義 食塩の低減食品と健康管理 講師 生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明 氏 食塩低減食品の利用と加工性 食塩（ナトリウム）を低減した食品の試食と意見交換</p>	<p>食品等事業者、健康づくり協力店、農産物加工事業者、JA関係者、管内市町関係課所職員、保健所関係職員等 ①41人 ②36人</p>

イ 特定健診受診率向上事業

関係機関の研修や会議で健診受診勧奨を実施した。

ウ 効果的な保健指導実施支援事業

実施年月日 (会 場)	内 容	参加者
①H28. 4. 26 ②H28. 5. 13 (早稲田リサーチパーク)	<p>「保健指導実務者研修会」 熊谷保健所、本庄保健所との共催により実施。</p> <p>テーマ「対象者のやる気を引き出す相談支援のポイント ライフスタイル改善～成果のみえる支援をめざして～」</p> <p>講師 栄養サポートネットワーク 合同会社 代表 安達 美佐 氏</p> <p>①『SILE』実践編 優先すべき問題点の選定：ライフスタイルとリスクの関連 成果を導く目標設定と障壁の検討（ロールプレイング） モニタリングと評価の方法 継続支援の対応</p> <p>②事例検討会（2事例） スキルチェック（自己評価） 質疑対応と意見交換</p>	<p>熊谷保健所、本庄保健所、秩父保健所、鴻巣保健所、加須保健所、東松山保健所管内自治体職員（国保主管課、保健主管課方々）、事業所の職員 健康管理担当・地域活動栄養士、医療施設で保健指導に携わる職員・保健所職員等</p> <p>①31人 ②22人</p>

エ 地域健康長寿情報のPR

保健所ホームページでの健康情報提供。

関係団体へ特定健診受診率向上とがん検診受診向上PR。

受動喫煙防止とともに「埼玉県全面禁煙実施施設認証制度」のPRと認証。

オ 市町村健康長寿のための情報担当者会議

実施年月日 (会 場)	内 容	参加人数
<p>①H28. 11. 22 ②H28. 12. 22 (埼玉県熊谷 地方庁舎)</p>	<p>「平成 28 年度 地域保健連携セミナー」 熊谷保健所、鴻巣保健所、東松山保健所、加須保 健所、本庄保健所との共催により実施。 健康長寿埼玉モデル普及事業、食育推進事業との 共催により実施。</p> <p>①講演 データヘルス計画の策定による保健事 業の評価の必要性を知ろう 講師 生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑応答 ・ グループ演習 I 「保健事業を評価の視点から 見よう！」 ・ 話題提供 I 事例提供者 市町の担当者 ・ 助言者 生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明 氏 埼玉県国民健康保険団体連合会職員 <p>②・ 前回のふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話題提供 II 「データヘルス計画策定と保健事 業評価を考えよう！」 ・ 事例提供者 市町の担当者 ・ グループ演習 II 「事業評価を見すえたデー タヘルス計画策定を考えよう！」 助言者 生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明 氏 埼玉県国民健康保険団体連合会職員 	<p>管内市町の国民健康 保険主管課・保健主管 課職員、保健所に勤務 する職員</p> <p>①23 人 ②29 人</p>
<p>①H28. 11. 11 ②H29. 2. 21 (秩父保健所)</p>	<p>「平成 28 年度秩父地域・職域連携推進会議」</p> <p>①・ データヘルス計画策定に向けた国保デー タベース (KDB) 等を活用した健康課題の把握 や保健事業の実施に係る情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他 <p>②・ 講演「データヘルス計画を進めるために、保 健事業の評価について学ぶ」 ～PDC Aサイクルの実践、事業実施計画に 基づいて事業評価計画を立てる～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループワーク「PDC Aサイクル実践のた めに事業評価計画を立てる」 ・ 講評及びデータヘルス計画に係る質疑応答 講師及び助言者 国立保健医療科学院 生涯健康研究部部長 横山 徹爾 氏 	<p>管内市町職員 (国民健 康保険主管課、保健管 課)、埼玉県国民健康 保険団体連合会職員、 保健所職員等</p> <p>①13 人 ②15 人</p>

<p>H29. 1. 24 H29. 2. 7 (①秩父保健所 ②横瀬町役場)</p>	<p>「データヘルス計画策定に係る個別支援」 内 容：各市町の計画策定の進捗状況に応じて個別支援を行った。</p>	<p>①長瀨町、小鹿野町職員（国民健康保険主管課、保健主管課）、埼玉県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会委員、埼玉県国民健康保健団体連合会職員、熊谷・秩父保健所職員 12人 ②横瀬町職員（国民健康保険主管課、保健主管課）、埼玉県国民健康保険団体連合会職員、秩父保健所職員 5人</p>
---	---	--

カ 健康長寿サポーター養成に関する支援

(1) ア「事業所講演会」と同様。

実施日時：平成 28 年 11 月 18 日（金）

場 所：やまなみ会館

対 象：事業所の社員 202 人

2 母子保健

子どもの心の健康問題や育児不安、虐待リスクのある親を支援するため、健康相談等を実施した。また、地域における母子保健体制のさらなる向上を目的に、連絡会議、研修会、事例検討会を実施した。

(1) 相談指導の実施

子どもの心の問題を抱える家庭や虐待のおそれのある親子等に対して、訪問指導、面接相談や電話相談を随時実施した。

平成 28 年度

	妊産婦		乳幼児（含未熟児）		児童・生徒等	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
訪問指導	5	22	7	32	7	47
面接相談	1	1	2	11	16	24

◆電話相談延べ 260 人

(2) 療育医療の給付

結核にり患し長期の入院を要する児童に対し、治療と教育を併せて行うために学習用品、日用品及び医療を給付している。平成 28 年度の承認件数は、0 件であった。

(3) 不妊治療費助成事業助成金の支給

次世代育成支援の一環として、不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険の適用外による高額な医療費がかかる配偶者間の特定不妊治療（体外受精治療および顕微授精治療）および男性不妊治療（特定不妊治療を行う上で必要とされる精巣内精子生検採取法、精巣上体内精子吸引採取法等）にかかる費用の一部について助成している。平成 28 年度の男性不妊治療費の助成実績は 0 件であった。

[支給件数等]

平成 28 年度

新規支給件数	秩父市	横瀬町	皆野町	長瀨町	小鹿野町	計
13	38(20)	0(0)	12(4)	1(1)	10(4)	61(29)

延件数（実件数）

(4) 子どもの心の健康相談事業の実施

子どもの心の健康問題は複雑で多岐にわたり、保健・医療・福祉・教育などの複数の機関による連携した対応が求められる。子ども達の健全育成を図るため、専門の医師・臨床心理士等による相談や、関係機関との検討会等を実施した。

ア 子ども心の健康相談

平成 28 年度

実施回数	月 1 回（予約制）
相談利用者数	実人員 14 人 延人員 17 人
相談従事者	医師、臨床心理士、保健師
相談児童の年齢	延べ内訳：小学生以下 10 人、中学生 5 人、高校生以上 2 人
相談者	延べ内訳：本人家族 16 人、関係機関の職員 1 人
相談経路	延べ内訳：本人・家族 1 人、市町村 12 人、教育関係機関 4 人
相談内容	不登校、心理的問題、発達の問題など

イ 子どもの心の健康を考える事例検討会

子どもの心の健康問題を中心に、事例検討及び情報交換を実施した。

参加機関	回数	参加人数
管内の市町保健福祉職員等	3回	述べ20人

ウ 子どもの心の問題に関する研修会

管内市町の保健・福祉関係機関、保育施設等の職員を対象に研修会を実施した。

実施年月日	内 容	参加者
H28. 8. 19	講演「育てにくさを感じる子どもへの支援」 講師 社会福祉法人慈徳院 こどもの心のケアハウス 嵐山学園 早川 洋 氏	49人

エ 小児精神保健医療推進連絡会議

管内の関係機関の活動について情報交換を行い、ネットワークの構築に向けた検討を行った。

実施年月日	内 容	参加者
H29. 2. 14	(1) 秩父障がい者総合支援センターにおける発達障害児への支援の活動状況 (2) 秩父特別支援学校におけるセンター的機能の活動状況 (3) 自立支援協議会そだてる部会の報告 (4) 秩父保健所における子どもの心の健康相談の実施状況 (5) 関係機関との連携について	市町保健師・教育委員会・ 秩父障がい者総合支援センター・秩父特別支援学校 職員、子どもの心の健康相談非常勤臨床心理士等 18人

(5) 母子保健連絡調整会議等の開催

地域における母子保健体制のさらなる向上を図ることを目的に、保健所別連絡調整会議を開催し、管内の母子保健の課題について協議するとともに、専門的な母子保健事業の検討及び研修会、事例検討会を実施した。

実施年月日	内 容	参加人数
H28. 10. 11	「母子保健研修会」 テーマ：事例検討会におけるファシリテーターの役割 講師：なごみ相談室 塚原 洋子 氏	16人

H28. 11. 1 H28. 12. 6 H28. 12. 14 H29. 2. 24	事例検討会（皆野町・長瀨町） 事例検討会（秩父市） 事例検討会（横瀬町） 事例検討会（小鹿野町）	助言者 なごみ相談室 塚原 洋子 氏	33 人
H29. 2. 14	「母子保健連携調整会議」 (1) 管内市町・保健所の母子保健事業について (2) 妊娠期からの切れ目のない支援について		8 人

(6) ふれあい親子支援事業の実施

育児への不安を抱える家族や虐待のリスクのある家族に対して、適切な養育への動機づけ及び心理的安定を図ることを目的に、ケースカンファレンスや個別相談等を実施した。

平成 28 年度

ケースカンファレンス検討事例	延べ 1 例
個別面接・相談数	延べ 5 件

(7) 妊娠期からの虐待予防強化事業

医療機関と地域保健機関等が連携し、妊娠・出産・育児期に養育支援を必要とする家庭を積極的に把握し、訪問支援等を行うことにより、育児不安等の軽減や孤立の防止を図り、児童虐待の予防を図ることを目的とし、平成 18 年 11 月から埼玉県で実施している事業である。平成 28 年度から協力医療機関を県内の産婦人科等を標榜するすべての医療機関とした。事業が効果的に運用されるよう関係機関の研修会や連携会議等を実施した。

実施年月日	内 容	参加者
H28. 10. 18	○第 1 回 研修会及び情報交換会 (1) 研修会 「埼玉医大総合医療センターにおける虐待予防強化事業の実際」 講師：埼玉医大総合医療センター 助産師 (2) 情報交換 「秩父地域における虐待予防のための連携について」	市町保健師・管内医療機関 医師・助産師等 16 人

H29. 3. 1	<p>○第2回 研修会及び情報交換会</p> <p>(1)事例報告「特定妊婦への支援」</p> <p>(2)研修会 「要保護児童対策協議会の果たすべき役割について」 講師：中央児童相談所 市町村支援専門員</p> <p>(3)情報交換 「各市町における要対協の取り組みと母子保健との連携」</p>	<p>市町保健師及び児童福祉 担当職員・管内医療機関 助産師等</p> <p style="text-align: right;">19人</p>
-----------	--	---

3 歯科保健

地域における歯科保健対策として、生涯を通じて歯の健康づくりの推進と保健・医療・福祉と連携した歯科保健事業を推進する。

(1) 歯科口腔保健連携推進事業

地域における歯科保健関係者、関係機関が連携し、歯科保健事業の在り方を検討することを目的に実施した。

実施年月日 (会場)	内 容	出席者
H28. 11. 24 (秩父保健所)	<p>講演「お口の中を覗いてみよう」</p> <p>講師 秩父郡市歯科医師会 地域保健部 倉林 利明 氏</p>	<p>秩父郡市歯科医師会員、 ちちぶ通所事業者連絡会 員、管内市町歯科保健事業 担当者、秩父地域歯科衛生 士会員等</p> <p style="text-align: right;">30人</p>

4 精神保健福祉

社会環境の多様化に伴い、相談内容も複雑化し、多機関での対応が求められる傾向にある。市町及び関係機関と連携しながら、地域精神保健福祉の向上に努めている。

(1) 精神保健福祉法による申請及び通報処理の状況

平成28年度

区 分	申請・通報件数	措置入院	措置不要	診察不要
一般人申請	0	0	0	0
警察官通報	10	5	5	0
検察官の通報	1	1	0	0
矯正施設の長の通報	3	0	0	3
計	14	6	5	3

(2) 相談、訪問指導の実施

平成 28 年度

面接相談							電話 相談	訪問指導						
実 人 数	延 人 数	主な内訳					延 人 数	実 人 数	延 人 数	主な内訳				
		社会 復帰	老 人	アル コ ール・ 薬物 等	思 春 期	受診 援助 等そ の他				社会 復帰	老 人	アル コ ール・ 薬物 等	思 春 期	受診 援助 等そ の他
67	114	25	2	7	3	77	676	65	127	32	16	8	0	71

(3) 嗜癮問題対策事業の実施

平成 15 年度から嗜癮問題について「地域住民や関係者への普及啓発」「予防や早期治療のための地域ネットワークの構築」を目的に事業を展開している。

ア 連絡会議・研修会

平成 18 年度から嗜癮問題の予防及び早期治療のための地域ネットワーク構築を目的に保健・医療・福祉職員、学校教職員、薬物乱用防止指導員、障害者福祉機関職員等を対象にした研修会等を開催している。平成 28 年度は生活衛生・薬事担当と共働し、薬物乱用防止指導員研修会との合同研修として実施した。

実施年月日	内 容	参加者
H28. 11. 2	嗜癮問題対策関係者研修（生活衛生・薬事担当と共働） 講義 「"ダメ。ゼッタイ。"だけではない薬物乱用防止教育」 講師 日本くすり教育研究所 加藤 哲太 氏	34 人

イ 摂食障害者ミーティング

平成 16 年 9 月に当事者グループ「ちちぶ with」が創設され、ミーティングの開催を支援していたが、当事者の定期参加が少なくなり平成 22 年 3 月で休止、事業を終了した。

平成 26 年に、当事者の相談先にもなっていた家族グループ「わたりがに」の活動が中止となり、当事者からミーティングの開催についての問合せが重なったため、当事者ミーティングを再開した。

実施年月日	参加者
H28. 6. 21	3 人
H28. 11. 15	2 人
H29. 3. 21	2 人

(4) 精神障害者地域移行支援事業

埼玉県精神障害者地域移行支援事業実施要綱に基づき、精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して、本人が充実した生活を送ることができるよう医療、福祉等の支援を行うという観点から、関係機関の協力の下で統合失調症を始めとする入院患者の減少及び地域生活への移行に向けた支援を推進することを目的に、平成20年4月から開始した。平成24年度には、地域移行支援・地域定着支援は障害者総合支援法のサービスに位置付けられた。

ア 地域移行支援連絡会議及び研修会

実施年月日	内 容	参加者
H28. 8. 17	(1) 平成28年度事業計画 (2) 中間報告 (3) 情報交換	27人
H29. 2. 22	講義：精神障害を持つ仲間同士が支援し合うという発想 ～リカバリーストーリーと精神障害者ピアサポートセンターの 取組から学ぶ～ 講師：NPO こらーる・たいとう 代表 加藤 真規子 氏	25人

イ ピアサポーター育成支援

地域移行に向けた支援を円滑に行うため、平成21年度に当事者による地域移行推進員を養成し、平成21年12月に発足した秩父当事者会「メンバー」の育成支援を、生活支援センターアクセスと協働して行った。

平成28年度

内 容	参加回数	延参加者数
秩父当事者会メンバー 定例会	12回	76人

ウ ピアサポーター養成講座

実施年月日	内 容	参加者
H28. 12. 7	講話「ピアサポーターの役割について」	新規 実0人
H28. 12. 28	講話「自分の体験や思いを話してみよう！聞いてみよう！」	延0人
H29. 1. 4	講話「自分の魅力を引き出そう！」	継続
H29. 1. 11	講話「話を聴くってどんな感じ？ コミュニケーションの豆知識」	実4人
H29. 1. 18	講座の振り返り「自分にできることってなんだろう！？」	延16人

(5) ひきこもり対策の実施

ア 一般相談

ひきこもり状態の方及びその家族を対象として、精神保健福祉相談員及び保健師による相談を随時行った。個人や家族だけで抱えてきたひきこもりの相談をすることで、家族や当事者のメンタルヘルスが向上していく様子が見られた。

イ 専門相談

ひきこもり状態の方及びその家族を対象として、臨床心理士による相談を行った。ひきこもり状態への対応について助言し、相談者の行動を変えるきっかけになっている。

ウ 家族教室ミーティング

ひきこもり状態の方への家族の接し方について、グループワーク形式で実施した。家族の行動が少しずつ変化する中で、家族間のコミュニケーションが改善し、家族自身のメンタルヘルスの向上と当事者の行動の変化が見られるようになった。

平成 28 年度延人員

一般相談			専門相談	家族ミーティング
訪問	電話	面接	7 回	6 回
1 人	17 人	17 人	11 人	34 人

エ 講演会等

実施年月日	内 容	参加者
H28. 11. 1	事例検討「ひきこもりと訴える本人、家族の理解と支援」 助言者 医療法人全和会秩父中央病院 臨床心理士 長島 恵利子 氏	3 人

(6) 精神障害者社会適応訓練事業の実施

精神障害者が一定期間、委託事業所に通う中で、集中力、対人能力、仕事に対する持続力等の向上を図るために実施している。4 事業所の協力を得て、7 人の利用があった。

(7) 家族会の育成

秩父郡市精神保健福祉会（心和会）

家族同士の交流を図るとともに、精神障害者への理解を深めるため、昭和 49 年に精神障害者の家族を中心に設立された。平成 2 年には心和会が運営主体となって作業所を設

立し、平成 18 年に N P O 法人に委譲した。現在は家族会の基本的な機能である「分かち合い」「学びあい」を中心に活動しており、当所ではそのための支援を行っている。

ア 総会、勉強会等 1 回

イ 役員会 6 回

ウ 心の健康づくり講演会（心和会、生活支援センターアクセス、秩父保健所共同開催）

実施年月日	内 容	参加者
H28. 5. 21	講演「こころの病を持つ方の家族が元気になるためには」 講師 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 教授 横山 恵子 氏	66 人

（８）市町等職員研修の実施

市町等の関係機関職員を対象に精神保健福祉に関する研修を実施した。

実施年月日	内 容	参加者
H28. 6. 29	県北部保健所合同研修 法定書類に関する事務担当者連絡会議 講師 精神保健福祉センター 審査担当職員	21 人
H28. 10. 21	県北部保健所合同研修 「統合失調症について～高齢化する患者の理解と支援～」 講師 医療法人全和会秩父中央病院 院長 内田 里華 氏	68 人
H29. 2. 9	職員相談研修 「自殺予防のための危機介入入門」 講師 精神保健福祉センター 藤平 百合子 氏	20 人

（９）他機関との連携

ア 精神科救急担当者会議

関係機関からの要望により、精神科救急におけるよりよい対応を目指して、平成 19 年度から開催している。消防署、警察署、精神科病院、身体科救急病院、保健所の担当者から自傷行為や自殺企図者への対応についての現状報告と、情報共有を行った。

実施年月日	内 容	参加者
H28. 7. 28	(1) 精神科救急医療の流れについて (2) 各機関の対応と課題 (3) 救急医療機関からの報告	14 人

イ 精神保健担当者会議

平成 28 年度から精神保健に関する情報交換を目的に、管内市町精神保健担当者会議を実施した。

実施年月日	内 容	参加者
H28. 8. 17	精神保健事業の 27 年度実績・28 年度計画について	9 人

ウ 事例検討会・業務連絡会等

関係機関の求めに応じて、保健、障害福祉等に関わる会議、事例検討会に出席した。

平成 28 年度

参 加 市 町	回 数	参加延人員
秩父市 横瀬町 皆野町 長瀬町 小鹿野町	23 回	198 人

エ 自立支援協議会

秩父郡市で暮らす障害児・者のよりよい生活を目的にした秩父地域自立支援協議会に参加している。平成 28 年度は「相談支援連絡会議」に 12 回、「運営会議」に 7 回、「全体会」に 2 回、「そだてる部会」に 5 回、「プロジェクトチーム(レスパイト入院)」に 1 回、研修会に 1 回出席した。

また、28 年度から秩父地域障害者差別解消支援地域協議会も併せて実施され、代表者会議に 2 回出席した。

オ 認知症疾患医療連携協議会

認知症疾患医療センター（秩父中央病院）が年 2 回主催している協議会へ出席。

また、ちちぶ圏域認知症初期集中支援チーム検討委員会へ委員として 1 回出席した。

(10) 自殺対策

平成 21 年度から自殺予防に関する普及啓発を目的に実行委員会として行ってきたが、平成 24 年度から「ちちぶ定住自立圏事業」として位置付けられ、保健所は委員として参加している。

ア 講演会

実施年月日	内 容	参加者
H28. 11. 12	秩父地域自殺予防フォーラム 講演「頑張らなくていい生き方」 講師 立教大学現代心理学部教授 精神科医 香山リカ 氏	500 人

イ 自殺対策連絡会議・研修会

平成20年度から各市町の自殺対策担当者を対象に、有効な自殺予防対策の実施を目的として始まった。平成24年度からちちぶ定住自立圏事業「秩父地域自殺予防対策連絡会」として再編された。

また、平成27年度からは秩父市セーフコミュニティの委員も兼ね参加している。

実施年月日	内 容	参加者
H29. 3. 17	(1) 秩父地域自殺予防フォーラムの報告と反省 (2) 平成29年度の自殺予防対策事業について (3) 研修①「自殺のない地域づくりを目指して ～自死遺族の立場から～」 講師 秩父保健所自死遺族の集いファシリテーター 南部 節子 氏 ②平成28年の自殺の状況について報告 秩父保健所 保健予防推進担当	20人

ウ 自死遺族のつどい

平成24年度から、自死遺族の支援として、身近な地域で安心して語り合える場を提供している。ファシリテーターは、NPO法人全国自死遺族総合支援センターの当事者に依頼している。

実施年月日	参加者
H28. 6. 10	2人
H28. 11. 11	4人
H29. 3. 10	3人

エ 普及啓発

秩父地域自殺予防対策連絡会として、自殺があった場所(橋)に新たに3か所「いのちの大切さ標語看板」を常設設置した。また、自殺対策強化月間(3月17日)に西武鉄道に協力し、西武秩父駅前で自殺防止キャンペーンとして普及啓発グッズを配布した。

5 感染症対策

感染症の発生の予防及びその蔓延の防止を目的として、感染症に迅速かつ的確に対応できるよう対策を実施した。

(1) 積極的疫学調査の実施

感染症の発生及び原因を明らかにするため、調査や保健指導等を実施した。

平成 28 年度調査件数	16 件
--------------	------

(2) 感染症（結核を除く一類～四類）の発生の状況

積極的疫学調査を実施するとともに、予防のための注意を喚起している。

平成 28 年度

疾患名	分類	件数
E 型肝炎	四類	1 件

(3) 新型インフルエンザ対策（秩父保健所管内地域別対策会議の開催）

地域の実情に応じた医療体制の整備の推進等のため、秩父地域危機対策協議会管理委員会の協力を得て、関係機関による対策会議を開催した。

参加機関：秩父郡市医師会、郡市薬剤師会、管内病院（5 機関）、市町（1 市 4 町）、秩父消防本部、秩父警察、小鹿野警察、秩父地域振興センター等

開催年月日	内 容	出席者数
H28. 9. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザ等県内感染拡大期における対策について ・ 蚊媒介感染症（デング熱・ジカウイルス感染症等）の対応について ・ 在宅医療機器依存度の高い災害時要援護者支援について ・ その他（感染症患者移送車・秩父消防における活動状況） 	33 人

(4) 感染症対策研修会（再掲：保健所別研修）

管内の高齢者介護施設及び医療機関等を対象に、日頃から感染症を予防する対策を整備し、発生時に感染拡大防止のための適切な対策をとれるよう研修会を開催した。

開催年月日	内 容	出席者数
H28. 12. 8	<p>感染症対策研修会</p> <p>(1) 施設における感染症対策について ～ インフルエンザ・感染症胃腸炎を中心に ～ 講師：国立病院機構西埼玉中央病院 感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師 武田 由美 氏</p> <p>(2) 体験してみよう！吐物処理の実際（デモンストレーション） 指導：武田 由美 氏</p>	47 人

(5) 感染症発生動向調査の検査の状況

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県内の患者発生状況、病原体の検索など流行の実態を早期かつ的確に把握するために行っている。

[指定届出機関]

平成 28 年度

医療機関名 (担当科)	定 点 区 分
国保町立小鹿野中央病院 (内科)	インフルエンザ定点
秩父市立病院 (内科)	インフルエンザ定点
秩父市立病院 (小児科)	小児科定点
伊古田小児科医院	小児科定点
本間医院	小児科定点
岩田産婦人科医院	S T D 定点
秩父市立病院	基幹定点

(6) エイズ相談、抗体検査の実施

エイズ相談は随時行い、H I V 抗体検査及び性行為感染症 (梅毒、B 型肝炎、C 型肝炎、クラミジア) の検査を、夜間を含めて毎月 2 回実施し、エイズ対策を推進している。

平成 28 年度 単位 : 人

エイズ相談		性感染症検査					
電話	来所	HIV 抗体		梅毒	HBs 抗原	HCV 抗体	クラミジア
		男	女				
52	52	13	9	21	21	21	2

(7) 肝炎治療特別促進事業の実施

C 型肝炎ウイルスの根治を目的として行うインターフェロン治療及びインターフェロンフリー並びに B 型肝炎ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療で、保険診療を受けた際の自己負担分の医療費等の一部を公費負担することにより、早期治療を促進し肝硬変・肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止を図っている。

平成 28 年度

B 型・C 型肝炎インターフェロン治療受給者 (2 回目を含む)	2 人
C 型肝炎インターフェロンフリー治療受給者	71 人
B 型肝炎核酸アナログ製剤治療受給者 (更新を含む)	45 人

6 結核対策

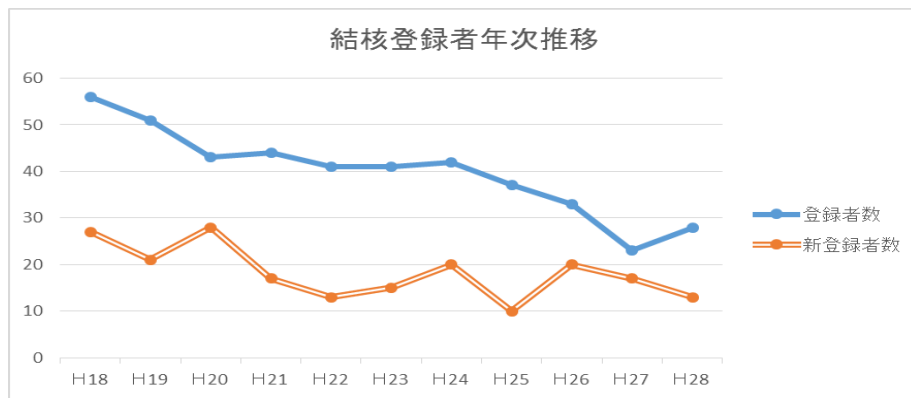
結核新規登録患者・登録者数ともに、平成15年以来減少傾向にある。発生時の調査及び相談、服薬中の服薬支援、服薬終了後の経過観察などにより、予防対策を実施している。

登録者は平成28年12月31日現在、新登録者は平成28年中

単位：人

年次	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
登録者数	56	51	43	44	41	41	42	37	33	23	28
新登録者数	27	21	28	17	13	15	20	10	20	17	13

(平成28年よりLTBI・転症除外者は除く)



(1) 新規登録者（市町別・活動性分類）

平成28年中 単位：人

分類		秩父市	横瀬町	皆野町	長瀬町	小鹿野町	計
活動性結核	肺結核塗抹陽性	2	—	1	1	1	5
	その他の菌陽性	1	—	—	—	1	2
	菌陰性・その他	1	—	—	—	—	1
	肺外結核	2	—	1	1	1	5
総計		6	—	2	2	3	13
掲別	潜在性結核感染症	1	—	1	—	—	2

(2) 結核公費負担申請・承認の状況

結核の適正な医療を普及するため、結核に感染し発病または発病する恐れのある者に対し、2種類の公費負担制度を実施している。

平成28年度 単位：件

保険種類		総数	被用者本人		国民健康保険	後期高齢者	生活保護	その他
			本人	家族				
感染症法 37条の2	申請	25	—	3	3	19	—	—
	合格	25	—	3	3	19	—	—
	承認	25	—	3	3	19	—	—
感染症法 37条	申請	23	—	—	2	21	—	—
	承認	23	—	—	2	21	—	—

(3) 接触者健康診断の実施

結核登録者で、医学的状況を把握する必要のある者、患者の家族及び接触者に対し健康診断を実施することで、結核の早期発見・早期治療を図った。

平成28年度 単位：人

検査項目	ツ反検査者	BCG接種者	IGRA検査	直接撮影者	喀痰検査者	被発見者数	
						結核患者	結核発病のおそれがあると診断された者
管理検診	—	—	—	5	—	—	—
接触者健診	—	—	90	61	—	—	2

(医療機関への委託分は除く)

(4) 訪問指導・来所相談及び電話相談の実施

結核対策の個別指導として、患者及び家族等への訪問指導及び来所相談、電話相談を随時行った。

また、平成17年度からは埼玉県版DOTS(服薬確認を軸とした患者支援)事業が開始され、すべての新規登録患者への服薬支援を行うとともに、治療完了率の向上に努めている。

平成28年度 単位：人

人員	相談		訪問指導			
	電話	来所	実人員		延人員	
	延人員	延人員	24	(再掲)DOTS	83	(再掲)DOTS
				20		70
302	76	24	20	83	70	

7 難病対策

指定難病等及び小児慢性特定疾病の診療に係る費用を公費で負担することにより、当該疾患の治療を推進し、医療の確立と普及を促進するとともに、患者とその家族の負担軽減を図ることを目的として実施している。

(1) 指定難病の医療給付

国が指定する指定難病及び県が指定する特定疾患に罹患し、認定基準に合致し、原則として治療を必要とする者に医療給付をしている。

〔受給者数合計 734人〕

平成28年度末現在 単位：人

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
01	球脊髄性筋萎縮症	2	24	亜急性硬化性全脳炎	-
02	筋萎縮性側索硬化症	6	25	進行性多巣性白質脳症	-
03	脊髄性筋萎縮症	-	26	HTLV-1 関連脊髄症	-
04	原発性側索硬化症	1	27	特発性基底核石灰化症	-
05	進行性核上性麻痺	3	28	全身性アミロイドーシス	-
06	パーキンソン病	63	29	ウルリッヒ病	-
07	大脳皮質基底核変性症	2	30	遠位性ミオパチー	1
08	ハンチントン病	-	31	ベスレムミオパチー	-
09	神経有棘赤血球症	-	32	自己食食空胞性ミオパチー	-
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	33	シュワルツ・ヤンペル症候群	-
11	重症筋無力症	27	34	神経線維腫症	2
12	先天性筋無力症候群	-	35	天疱瘡	3
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	19	36	表皮水疱症	-
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	1	37	膿疱性乾癬（汎発型）	1
15	封入体筋炎	1	38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	-
16	クロウ・深瀬症候群	-	39	中毒性表皮壊死症	-
17	多系統萎縮症	13	40	高安動脈炎	5
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	15	41	巨細胞性動脈炎	-
19	ライソゾーム病	1	42	結節性多発動脈炎	4
20	副腎白質ジストロフィー	-	43	顕微鏡的多発血管炎	8
21	ミトコンドリア病	2	44	多発血管炎性肉芽腫症	1
22	もやもや病	19	45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1
23	プリオン病	-	46	悪性関節リウマチ	4

疾病 番号	疾 患 名	受給者	疾病 番号	疾 患 名	受給者
47	バージャー病	2	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	-
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	-	80	甲状腺ホルモン不応症	-
49	全身性エリテマトーデス	63	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	-
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	21	82	先天性副腎低形成症	-
51	全身性強皮症	46	83	アジソン病	-
52	混合性結合組織病	5	84	サルコイドーシス	24
53	シェーグレン症候群	8	85	特発性間質性肺炎	13
54	成人スチル病	2	86	肺動脈性肺高血圧症	2
55	再発性多発軟骨炎	1	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	-
56	ベーチェット病	17	88	慢性血栓性肺高血圧症	5
57	特発性拡張型心筋症	12	89	リンパ管筋腫症	2
58	肥大型心筋症	5	90	網膜色素変性症	16
59	拘束型心筋症	-	91	バッド・キアリ症候群	-
60	再生不良性貧血	10	92	特発性門脈圧亢進症	1
61	自己免疫性溶血性貧血	1	93	原発性胆汁性胆管炎	47
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	94	原発性硬化性胆管炎	-
63	特発性血小板減少性紫斑病	28	95	自己免疫性肝炎	7
64	血栓性血小板減少性紫斑病	-	96	クローン病	27
65	原発性免疫不全症候群	2	97	潰瘍性大腸炎	91
66	IgA腎症	1	98	好酸球性消化管疾患	-
67	多発性嚢胞腎	6	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	-
68	黄色靭帯骨化症	3	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	-
69	後縦靭帯骨化症	15	101	腸管神経節細胞僅少症	-
70	広範脊柱管狭窄症	5	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	-
71	特発性大腿骨頭壊死症	19	103	CFC 症候群	-
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	-	104	コステロ症候群	-
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	-	105	チャージ症候群	-
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	-	106	クリオピリン関連周期熱症候群	-
75	クッシング病	2	107	全身型若年性特発性関節炎	-
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	-	108	TNF 受容体関連周期性症候群	-
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	2	109	非典型溶血性尿毒症症候群	-
78	下垂体性前葉機能低下症	3	110	ブラウ症候群	-

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
111	先天性ミオパチー	1	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	-
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	-	144	レノックス・ガストー症候群	-
113	筋ジストロフィー	1	145	ウエスト症候群	-
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	-	146	大田原症候群	-
115	遺伝性周期性四肢麻痺	-	147	早期ミオクロニー脳症	-
116	アトピー性脊髄炎	-	148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	-
117	脊髄空洞症	-	149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	-
118	脊髄髄膜瘤	-	150	環状 20 番染色体症候群	-
119	アイザックス症候群	-	151	ラスムッセン脳炎	-
120	遺伝性ジストニア	1	152	P C D H 19 関連症候群	-
121	神経フェリチン症	-	153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	-
122	脳表ヘモジドリン沈着症	-	154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	-
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	-	155	ランドウ・クレフナー症候群	-
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	-	156	レット症候群	-
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	-	157	スタージ・ウェーバー症候群	-
126	ペリー症候群	-	158	結節性硬化症	-
127	前頭側頭葉変性症	-	159	色素性乾皮症	-
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	-	160	先天性魚鱗癬	-
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	-	161	家族性良性慢性天疱瘡	-
130	先天性無痛無汗症	-	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	-
131	アレキサダー病	-	163	特発性後天性全身性無汗症	-
132	先天性核上性球麻痺	-	164	眼皮膚白皮症	-
133	メビウス症候群	-	165	肥厚性皮膚骨膜炎	-
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	-	166	弾性線維性仮性黄色腫	-
135	アイカルディ症候群	-	167	マルファン症候群	-
136	片側巨脳症	-	168	エーラス・ダンロス症候群	-
137	限局性皮質異形成	-	169	メンケス病	-
138	神経細胞移動異常症	-	170	オクシピタル・ホーン症候群	-
139	先天性大脳白質形成不全症	-	171	ウィルソン病	-
140	ドラベ症候群	-	172	低ホスファターゼ症	-
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	-	173	V A T E R 症候群	-
142	ミオクロニー欠神てんかん	-	174	那須・ハコラ病	-

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
175	ウィーバー症候群	-	207	総動脈幹遺残症	-
176	コフィン・ローリー症候群	-	208	修正大血管転位症	-
177	有馬症候群	-	209	完全大血管転位症	-
178	モワット・ウィルソン症候群	-	210	単心室症	-
179	ウィリアムズ症候群	-	211	左心低形成症候群	-
180	A T R - X 症候群	-	212	三尖弁閉鎖症	-
181	クルーズン症候群	-	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
182	アペール症候群	-	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	-
183	ファイファー症候群	-	215	ファロー四徴症	-
184	アントレー・ピクスラー症候群	-	216	両大血管右室起始症	-
185	コフィン・シリス症候群	-	217	エプスタイン病	-
186	ロスムンド・トムソン症候群	-	218	アルポート症候群	-
187	歌舞伎症候群	-	219	ギャロウェイ・モワト症候群	-
188	多脾症候群	-	220	急速進行性糸球体腎炎	-
189	無脾症候群	-	221	抗糸球体基底膜腎炎	-
190	鰓耳腎症候群	-	222	一次性ネフローゼ症候群	2
191	ウェルナー症候群	-	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	-
192	コケイン症候群	-	224	紫斑病性腎炎	-
193	プラダー・ウィリ症候群	-	225	先天性腎性尿崩症	-
194	ソトス症候群	-	226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	-
195	スーナン症候群	-	227	オスラー病	-
196	ヤング・シンプソン症候群	-	228	閉塞性細気管支炎	-
197	1 p 36 欠失症候群	-	229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	-
198	4 p 欠失症候群	-	230	肺胞低換気症候群	-
199	5 p 欠失症候群	-	231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	-
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	-	232	カーニー複合	-
201	アンジェルマン症候群	-	233	ウォルフラム症候群	-
202	スミス・マギニス症候群	-	234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	-
203	22 q 11.2 欠失症候群	-	235	副甲状腺機能低下症	1
204	エマヌエル症候群	-	236	偽性副甲状腺機能低下症	-
205	脆弱X症候群関連疾患	-	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	-
206	脆弱X症候群	-	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	-

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	-	271	強直性脊椎炎	1
240	フェニルケトン尿症	-	272	進行性骨化性線維異形成症	-
241	高チロシン血症1型	-	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	-
242	高チロシン血症2型	-	274	骨形成不全症	-
243	高チロシン血症3型	-	275	タナトフォリック骨異形成症	-
244	メープルシロップ尿症	-	276	軟骨無形成症	-
245	プロピオン酸血症	-	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	-
246	メチルマロン酸血症	-	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	-
247	イソ吉草酸血症	-	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	-
248	グルコーストランスポーター1欠損症	-	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	-
249	グルタル酸血症1型	-	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	-
250	グルタル酸血症2型	-	282	先天性赤血球形成異常性貧血	-
251	尿素サイクル異常症	-	283	後天性赤芽球癆	-
252	リジン尿性蛋白不耐症	-	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	-
253	先天性葉酸吸収不全	-	285	ファンコニ貧血	-
254	ポルフィリン症	-	286	遺伝性鉄芽球性貧血	-
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	-	287	エプスタイン症候群	-
256	筋型糖原病	-	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	-
257	肝型糖原病	-	289	クロンカイト・カナダ症候群	-
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	-	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	-
259	レンチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	-	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	-
260	シトステロール血症	-	292	総排泄腔外反症	-
261	タンジール病	-	293	総排泄腔遺残	-
262	原発性高カイロミクロン血症	-	294	先天性横隔膜ヘルニア	-
263	脳髄黄色腫症	-	295	乳幼児肝巨大血管腫	-
264	無βリポタンパク血症	-	296	胆道閉鎖症	-
265	脂肪萎縮症	-	297	アラジール症候群	-
266	家族性地中海熱	-	298	遺伝性膵炎	-
267	高IgD症候群	-	299	嚢胞性線維症	-
268	中條・西村症候群	-	300	IgG4関連疾患	-
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	-	301	黄斑ジストロフィー	-
270	慢性再発性多発性骨髄炎	-	302	レーベル遺伝性視神経症	-

疾病 番号	疾 患 名	受給者	疾病 番号	疾 患 名	受給者
303	アッシュャー症候群	-	05	◇スモン	1
304	若年発症型両側性感音難聴	-	18	◇難治性肝炎のうち劇症肝炎	-
305	遅発性内リンパ水腫	-	32	◇重症急性膵炎	-
306	好酸球性副鼻腔炎	1	38	◇プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。)	-
307	カナバン病	-	995	◎溶血性貧血	-
308	進行性白質脳症	-	996	◎橋本病	-
309	進行性ミオクロームステんかん	-	997	◎特発性好酸球増多症候群	-
310	先天異常症候群	-	998	◎原発性慢性骨髄線維症	2
311	先天性三尖弁狭窄症	-			
312	先天性僧帽弁狭窄症	-			
313	先天性肺静脈狭窄症	-			
314	左肺動脈右肺動脈起始症	-			
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群) / LMX1B 関連腎症	-			
316	カルニチン回路異常症	-			
317	三頭酵素欠損症	-			
318	シトリン欠損症	-			
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	-			
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	-			
321	非ケトーシス型高グリシン血症	-			
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	-			
323	芳香族 L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	-			
324	メチルグルタコン酸尿症	-			
325	遺伝性自己炎症疾患	-			
326	大理石骨病	-			
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	-			
328	前眼部形成異常	-			
329	無虹彩症	-			
330	先天性気管狭窄症	-			

◇特定疾患 ◎県単独疾患

- 注) 1 難病の患者に対する医療等に関する法律として平成 27 年 1 月 1 日から施行
2 196 疾病(111~306)は平成 27 年 7 月 1 日から適用
3 24 疾病(307~330)は平成 29 年 4 月 1 日から適用

(2) 小児慢性特定疾病医療費助成制度

児童福祉法第19条の2に基づき、児童等の慢性疾病のうち国が指定した疾病（小児慢性特定疾病）の医療にかかる費用の一部を助成し、医療費の負担軽減を図る。

〔受給者合計 104人〕

平成28年度末現在 単位：人

疾病番号	疾患名	受給者	疾病番号	疾患名	受給者
01	悪性新生物	13	08	先天性代謝異常	3
02	慢性腎疾患	8	09	血液疾患	0
03	慢性呼吸器疾患	3	10	免疫疾患	0
04	慢性心疾患	24	11	神経・筋疾患	10
05	内分泌疾患	24	12	慢性消化器疾患	5
06	膠原病	1	13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	2
07	糖尿病	11	14	皮膚疾患	0

(3) 先天性血液凝固因子欠乏症医療の給付

先天性血液凝固因子欠乏症等により患し、認定基準に合致し、原則として治療を必要とする者に医療給付をしている。

〔受給者合計 8人〕

平成28年度末現在 単位：人

疾病番号	990000～990010	受給者	8
------	---------------	-----	---

(4) 相談指導の実施

難病患者及び家族に対して、申請時等の面接を中心にした相談指導や訪問指導、電話相談を随時行った。

件数	指定難病	訪問指導 (実人員)	面接相談 (実人員)	(再掲) 面接の延べ相談主訴									電話相談
				申請等	医療	家庭看護	福祉制度	就労	就学	食事・栄養	歯科	その他	
	指定難病	10	861	861	182	55	28	17	4	24	9	74	67
	小児慢性	0	100	86	14	4	5	—	6	4	1	12	12

(5) 難病相談事業の実施

難病患者とその家族の療養支援を目的に、交流会や自助グループ支援等を実施している。平成 24 年度からは、災害時における難病患者支援に取り組み、関係者との連絡会を実施している。また、平成 27 年度から、難病患者等ホームヘルパー養成研修にかわり、難病患者やその家族の相談等に従事する関係機関職員の資質向上を図るため、在宅難病患者支援従事者研修会を実施している。

ア 長期療養児教室の開催

平成 29 年度、30 年度に就学予定の医療依存度の高い小児慢性特定疾病の医療費助成を受けている児および保護者を対象に、埼玉県立秩父特別支援学校の見学及び交流会を実施した。

実施年月日 (会場)	内 容	参加者数
H28. 6. 29 (埼玉県立秩父特別支援学校)	『慢性疾患のお子様をお持ちの保護者の集い』 ・埼玉県立秩父特別支援学校の見学とお話 講師 埼玉県立秩父特別支援学校 新井教諭 ・交流会 (先輩ママの就学体験報告等)	親子 6 人

イ 交流会

対象疾患	実施年月日	内 容	参加者
筋萎縮性側索硬化症	H28. 9. 17	講演会「当地における ALS 在宅療養」 本間内科皮膚科クリニック院長 本間 宏之 氏 交流会 (日本 ALS 協会埼玉県支部北部ブロック交流会、県北保健所共催、当番保健所本庄保健所)	48 人
パーキンソン病	H28. 10. 16	講話「日常生活で気をつけるポイント」 皆野病院 言語聴覚士 大島 佳行 氏 理学療法士 山浦 徹志 氏 (埼玉県パーキンソン病友の会相談会と同時開催)	37 人

ウ 自助グループ支援

◆花みずき会

平成 17 年 6 月から膠原病の地区患者会として月 1 回の自主活動を行っており、会場提供や材料の貸し出し、活動の PR、運営の相談等の支援をしている。

エ 在宅難病患者支援従事者研修会

実施年月日	内 容	参加者
H28. 5. 9	○事例報告 「人工呼吸器装者退院支援の実際」 報告者 秩父訪問看護ステーション介護支援専門員 高橋 克文 氏 訪問看護師 大久保 麻美 氏	27 人
H28. 10. 16	○講話「日常生活で気をつけるポイント」 講師 皆野病院 言語聴覚士 大島 佳行 氏 理学療法士 山浦 徹志 氏 (パーキンソン病患者・家族の集いと同時開催)	12 人
H28. 11. 29	○講話「難病法と埼玉県の難病対策」 講師 埼玉県疾病対策課指定難病対策担当 吉澤 莉恵 氏 ○講話「難病患者を取り巻く制度の理解と社会資源」 講師 東埼玉病院医療社会事業専門員 武藤 陽子 氏 (県北3保健所合同開催)	44 人

オ 災害時における難病患者支援体制の整備

〔災害時の在宅難病患者支援従事者連絡会〕

実施年月日	内 容	参加者
H29. 3. 22	○災害対策研修会事前アンケート結果報告 ○各機関における在宅難病患者支援の取り組み状況報告 ○意見交換	8 人

〔災害対策研修会〕

実施年月日	内 容	参加者
H28. 12. 15	○講話「秩父市における避難行動要支援者支援」 講師 秩父市社会福祉課主任 山中 伸吾 氏 ○災害用伝言ダイヤルを利用した災害時安否確認演習	16 人
H29. 3. 22	○講話「医療機器依存度の高い在宅難病患者の災害対策 ～支援者としての備え～」 講師 プラーナクリニック 臨床工学技士 阿部 博樹 氏 ○医療機器使用体験（協力：帝人在宅医療㈱）	20 人

8 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾被爆者の医療等に関する法律に基づき、広島、長崎において被爆した者に原子爆弾被爆者健康手帳を交付し、手帳所持者には、必要な医療費を給付している。

原子爆弾被爆者等健康手帳所持者数	7人
------------------	----

9 保健師人材育成

保健師の現任教育体制の整備・充実を図るため、県・市町村保健師連絡調整会議地域別会議を開催し、管内の課題を共有し現任教育計画を作成した。

平成 28 年度

実施日	内 容	参加者
H28. 6. 30	(1) 各所属における保健師現任教育の現状と課題について (2) 管内における平成 28 年度保健師現任教育計画について	8 人

なお、管内には市町及び保健所保健師を会員とする「秩父保健師業務研究会」が昭和 38 年から活動を継続しており、平成 28 年度においても、保健師の資質向上等を目的に 6 回開催され、延べ 62 人参加した。

10 秩父地区地域看護推進会議

平成 26 年度までは、北部 3 保健所輪番で年 1 回開催してきた「北部地区地域看護推進会議」を、平成 27 年度から各保健所で開催することになり、看護の視点から連携・協働し、秩父地区の在宅医療・地域包括ケアを推進することを目的に会議を開催した。

平成 28 年度

実施日	内 容	参加者
H29. 3. 14	(1) 糖尿病重症化予防における看護連携について ①皆野病院と秩父地域市町の連携 (2) 市町の糖尿病重症化予防の取組みについて ①各地の国保特定健診と△eGFR について ②秩父地域 1 市 4 町のデータヘルス計画について	23 人